

奈良県指定文化財調査票

調査日	2021 年	3 月	19 日	記入者	安川暁美
調査者名	春日	仲谷	西田	安川	

文化財名	石上神宮社そう				
種類	<input type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input checked="" type="checkbox"/> 天然記念物	<input type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ()
指定年月日	1995年(平成7)3月22日				
所在地	天理市布留町384番地				
所有者 管理者	石上神宮				
員数					
時代区分					
樹木の場合	(樹木名) 多様な常緑樹・植栽のヒノキ、スギ			(樹齢)	
案内板の状況	社そうの説明板は確認出来ず。天理市による保存地区における行為制限案内板あり。				
公開	常時				
保存状態	<input type="checkbox"/> 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> 良い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い
	補足				
当面の課題	特になし。倒木による社殿等への被害を避ける為一部で伐採が行われている。計画的に杣人が年数回入り、境界確認や枝打ち等の管理が行われている。				
今後の課題	一部で表層の崩落が見られ、今後巨木が倒れる危険性を感じた。伐採という方法ではなく、本質的な部分から探った原因対処や状況の把握を望む。				
その他 (由緒など)	境内地234,631㎡(約71,100坪)のうち約130,000㎡が「石上神宮社そう」として1995年奈良県天然記念物の指定を受ける。境内を「山の辺の道」が通り、1967年(昭和42)12月15日に周辺地域を含め「歴史的風土石上神宮特別保存地区」に指定される。				
コメント	境内には大イチョウ(高さ約30m、幹回り3.26m、樹齢約300年)、イチイガシの巨樹(高さ約25m、幹回り4.15m、樹齢約300年)、神杉数本(幹回り3~4m、樹齢300年超える)の巨木がある。『万葉集』にも詠われているご神木「神杉」の崇高さに、思わず新型コロナウイルス感染症の収束を願い手を合わせた。静寂に包まれ大きく深呼吸をしたくなる空間です。「石上布留の神杉神さびて恋をも我はさらにするかも」 柿本人麻呂				

奈良県指定文化財調査票(写真)

調査日	2021 年	3 月	19 日	記入者	安川暁美
調査者名	春日	仲谷	西田	安川	

文化財名	石上神宮社そう
------	---------

社そう(石上神宮ホームページより)	イチイガシ
-------------------	-------



表層が崩壊し根が露出



倒木の危険性の為伐採された木



社そうと摂社



「歴史的風土石上神宮特別保存地区」指定案内板

